

## 1 学年 国語科学習指導案

|                 |                           |       |             |
|-----------------|---------------------------|-------|-------------|
| 単元・題材名<br>(授業名) | 文章から情報を得る<br>「大きな力を出す」(1) | 生 徒   | 家庭総合科1年生徒7名 |
|                 |                           | 場 所   | 家庭総合科1年教室   |
| 日 時             | 令和元年12月23日(月)5校時          | 指 導 者 | T1:成田       |

## 1 授業のねらい

(単元の目標)

- ・文章の内容を読み取ることができる。
- ・グループ活動をととして、仲間と協力し、自分の役割を果たすことができる。

(本時の目標)

- ・文章の内容を理解することができる。
- ・自分の役割を理解し、仲間と協力しながらグループ活動に取り組むことができる。

## 2 生徒について

- ・教師の説明を最後まで集中して聞くことができる生徒とやや難しい生徒がいる。
- ・目標の達成を目指しながら、仲間と協力して取り組むことができる。

## 3 単元における「主体的・対話的で深い学び」の各目標とねらい

(主体的な学び)

目 標：決められた時間内に決められた問題を自分の力で解くことができる。

ねらい：自分のやるべきことを、最後まで責任をもって果たすことができる。

(対話的な学び)

目 標：仲間と相談し話し合うことができる。

ねらい：自分の意見を相手に伝えながらも、相手の意見を取り入れることで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(深い学び)

目 標：仲間との話し合いの中で、役割分担をしたり、一つの意見にまとめたりすることができる。

ねらい：作業学習や生活単元学習での話し合いにおいても、積極的に参加しながらグループに貢献することができる。

## 4 指導計画

第1回 12月23日：文章の読解 「大きな力を出す」(1)(本時)【主・対】

第2回 12月25日：文章の読解 「大きな力を出す」(2)【主・対・深】

## ※ 授業を振り返って

本時では、説明文を読むことや仲間の意見を聞くこと、仲間と話し合ったことなどを一つにまとめて書くことを中心として授業を行った。読む力や聞く力、書く力はしっかりと身に付いてきているが、複数の意見を仲間と話し合って一つにまとめる力がもう少し必要であると感じた。今後は、国語の授業だけではなく、他の教科・領域においても話し合い活動をより取り入れ、協力しながら複数の意見を一つにまとめる経験をさらに積み重ねていくことが必要であると考えている。

## 5 本時の展開

|           | 学習活動                                                                                  | 生徒の活動                                                                                                                                              | 教師の活動                                                                                                                                                                                   |    | 教材教具                                                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           |                                                                                       |                                                                                                                                                    | MT                                                                                                                                                                                      | ST |                                                                                                    |
| 導入<br>5分  | <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶</li> <li>本時の確認</li> <li>本時の目標の確認</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>始めの挨拶をする。</li> <li>学習プリントに取り組むことを確認する。</li> <li>本時の目標を確認する。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶を行うように生徒を指名する。</li> <li>「大きな力を出す」(1)のプリントに取り組むことを説明する。</li> <li>本時の目標を提示する。</li> <li>グループでの話し合いでは、必ず自分の意見を発表し、仲間の意見も聞きながら進めるように伝える。</li> </ul> |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>提示カード</li> </ul>                                            |
| 展開<br>35分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の読解</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習プリントの文章を一人一文ずつ読む。</li> <li><u>学習プリントの問題に取り組む。</u></li> <li><u>一問解くごとにグループで話し合い、一つの答えを導き出す。</u></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりと大きな声で読むことを伝える。</li> <li>一問ずつ解くことを伝える。</li> <li>グループで話し合い、一つの答えをホワイトボードに書くように伝える。</li> <li>分からないことは、仲間に相談</li> </ul>                         |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習プリント</li> <li>ホワイトボード(3枚)</li> <li>ホワイトボードマーカー</li> </ul> |

|          |                                                                            |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                |  |      |
|----------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------|
|          |                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答えを発表する。</li> <li>・ 答え合わせをする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>し、それでも解決しない場合は教師に質問するように伝える。</li> <li>・ グループごとに答えを発表するように伝える。</li> <li>・ 全てのグループが答えを発表した後、正答を伝える。</li> <li>・ 赤ペンだけをもち、間違った場合は赤ペンで訂正するように伝える。</li> </ul> |  | (3本) |
| 整理<br>5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめ、振り返り</li> <li>・ 挨拶</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業者の話を聞く。</li> <li>・ 終わりの挨拶をする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習の取り組みについて講評する。</li> <li>・ 挨拶を行うように生徒を指名する。</li> </ul>                                                                                            |  |      |

※「主体的・対話的で深い学び」の目標に関連する活動については、下線を引く。

## 実践レポート（MT用）

|                 |                                                     |       |             |
|-----------------|-----------------------------------------------------|-------|-------------|
| 単元・題材名<br>(授業名) | 文章から情報を得る<br>「大きな力を出す」(1)                           | 生 徒   | 家庭総合科1年生徒7名 |
|                 |                                                     | 場 所   | 家庭総合科1年教室   |
| 日 時             | 令和元年 12 月 23 日(月)5校時                                | 指 導 者 | T1:成田       |
| 取り入れた目標         | <div>主体的な学び</div> <div>対話的な学び</div> <div>深い学び</div> |       |             |

## ① 取り入れた目標について

説明文の読解のワークシートに取り組ませた。話し合い活動の前段階として、1問ずつ一人で解く時間を与えた。また、自分で解いた解答を後に話し合い活動で必ず発表し、ペアで一つの解答にまとめることも事前に説明した。話し合い活動で自分の解答が必要になることを認識することで責任感が生まれ、一人一人が主体的に問題を解くことができていた。

自分で解いた解答をペアで発表し合い、話し合っ一つの答えにまとめることのできるグループもあったが、ペアで発表はし合っても十分に話し合わないまま急いでまとめてしまうグループもあった。活動する前の注意事項として、友達の意見をしっかりと聞き、意見を取り入れながらまとめるように説明していたが、生徒全員に順守させることができなかったことが反省点である。今後は、生徒の活動をより細部にわたって観察し、的確な言葉掛けをしていきたい。

## ② 授業全体について

導入部分で、生徒たちが自分自身で緊張を和らげるためか、一時的に私語を始めてしまう場面があった。教師の促しによってすぐに集中することができたが、いつもと違う少しの教室環境の変化で生徒の精神状態が変わってしまうことを改めて実感した。

展開部分では、生徒一人一人が教師の説明をよく聞き、行うべき活動に取り組んでいた。グループでの話し合いの活動で、自分の間違いを指摘されたことでやや気分を損ねてしまった生徒がいたが、仲間がなだめながら話し合いを続けることができていた。

全体的にいつもよりもゆっくりと授業を進めてしまったため、後半は生徒に急がせる場面が多くあった。一単位時間の中で、時間をかけるべき部分とそうではない部分との見極めをしっかりとしておくべきであったと感じている。

## ③ 今後の取り組みについて

これまでの学習において話し合い活動を経験してきたことで、役割分担を決めることはとても迅速であった。しかし、仲間の意見を話し合いの中で一つにまとめることは不十分であったため、より経験と学習の積み重ねが必要であると感じた。今後は、生活単元学習や作業学習においても話し合い活動をより多く取り入れ、仲間の意見との共通点や相違点に気付き、協力しながら一つの意見にまとめていくことの楽しさを感じられる授業作りに努めていきたい。

## 授業参観者アンケート

「主体的・対話的で深い学び」についての評価

### 【主体的な学び】

- ・2分間を自分の力で考える時間としたことで、集中力があまり続かない生徒も短い設定時間により飽きることなく思考することができていた。

### 【対話的な学び】

- ・話し合いが多いペア・少ないペアと様々あったが、対話自体はできていた。話し合いの時間を5分間とし、教師側から残り時間を言葉掛けすることで結論をまとめようとする気持ちを高められていたと思われる。
- ・対話的という観点でペアでの学習を行っていたと思いますが、ペアによっては話し合いをしているところもあれば、確認だけで終わっているところもあったため、答えを2人で探ったり、複数個ある内容だと盛り上がったり、活発になったりするのではないかと思います。

### 【深い学び】

- ・ホワイトボードに書いたり発表したりする役割を生徒たちでスムーズに分担することができていた。また、お互いに納得して一つの意見にまとめる様子が見られた。

授業を通しての感想（良かったところ・改善点、MT・STの動きについてなど）

- ・生徒の姿勢が目立たため、必要に応じた言葉掛けが必要かと思いました。（話を聞いている人もいれば、手遊びをしている人、ホワイトボードを持ったままの人）
- ・授業の最初に目標がわかりやすく示されていて良かった。
- ・1問ずつ取り組み、答え合わせをすることで全員が積極的に取り組んでいた。
- ・解答の導き出し方についての解説があまりなかったため、今後同様の文章を読み解くときに自己解決できるのかな？と思いました。
- ・一人で考える時間と話し合う時間が区別されていてメリハリがあり良かったと思う。
- ・まとめた内容を全体で発表、共有したことについては、良かったと思います。
- ・話し合いのときの声の大きいことがあり、隣のグループの内容が聞こえていることがあった。全体に話すときの声の大きさと、グループで話すときの声の大きさを考えられると良いと思った。
- ・ホワイトボードを使用しているので、一旦それらを黒板に並べて自分と他のペアの意見を比較してみる、というのもしよいかもかもしれません。
- ・最後に文章の具体例となるような画像を出してみせていた点については、生徒がイメージしやすく良かったです。

## 3 学年 国語科 学習指導案

|                 |                             |       |                  |
|-----------------|-----------------------------|-------|------------------|
| 単元・題材名<br>(授業名) | 書いて伝える<br>(オリエンテーション・調べ学習①) | 生 徒   | 農業科3年生徒6名        |
|                 |                             | 場 所   | 農業科3年教室・コンピューター室 |
| 日 時             | 令和元年 12 月 3 日 (火) 2 校時      | 指 導 者 | T1: 矢倉           |

## 1 授業のねらい

(単元の目標)

- ・ 現在及び将来の生活においてやりとりをする書状や文書の定型表現、様式、作成時の注意事項などの基礎知識を身に付けることができる。(知識・技能)
- ・ 書状や文書の種類、送る相手と自分との関係性などを踏まえた適切な表現で作成することができる。(思考力・判断力・表現力)
- ・ 指示を理解し、集中して学習活動に取り組むことができる。(態度)

(本時の目標)

- ・ 年賀状、喪中はがき、寒中見舞いに関するきまりごとを調べ、まとめることができる。
- ・ 指示を理解し、集中して学習活動に取り組むことができる。

## 2 生徒について

- ・ 漢字の知識、文章力、読解力など、国語的な力の実態差が大きい。
- ・ 自分の考えを述べることができるが、言葉の選択や表現が適切ではない場合がある。また、文章にすることは苦手な生徒が多い。
- ・ 集中して学習に取り組むことが困難な生徒が多く、私語や姿勢の乱れが見られる。
- ・ 数名がリーダーシップを発揮し、全員で協力して、自分たちの力で物事に取り組もうとする姿勢が見られる。

## 3 単元における「主体的・対話的で深い学び」の各目標とねらい

(主体的な学び)

目 標：仲間と分担して調べ学習を進めることができる。

ねらい：指示された事柄や関連する事柄を調べたり、情報を整理したりする力を高める。

(対話的な学び)

目 標：調べたことや自分の考えを発表し合い、知り得た情報を書き留めることができる。

ねらい：知り得た情報を伝え合い、自他ともに知識や技能を高め合う。

(深い学び)

目 標：学習した内容を生かして、実際に書状や文書を作成することができる。

ねらい：問題点を発見したり、解決したりする力を高める。

#### 4 指導計画

第1回 12月 3日： オリエンテーション、調べ学習①（年賀状について）【主】（本時）

第2回 12月 9日： 調べ学習①の成果発表、年賀状の作成【対・深】

第3回 12月10日： 調べ学習②（年賀状以外の書状について）【主】

第4回 12月17日： 調べ学習②の成果発表、年賀状以外の書状の作成【対・深】

第5回 12月23日： 電子メールの基礎知識【主・深】

第6回 12月24日： ビジネス文書の基礎知識【主・深】

#### ※ 授業を振り返って

生徒2名欠席のため、4名で学習活動を行った。

生徒が主体となって学び進められるような単元、授業を計画した。本時は計画どおりに進めることができ、本時の目標もおおむね達成することができた。自分の担当した箇所を時間いっぱい集中して調べるという、自分の役割を果たす姿勢は、国語に限らず、様々な学習活動で培われてきた力であり、それを発揮することができていたと感じた。

一方で、適切な検索ワードは何かがわからない、長文の中から必要な情報を読み取れないなど、物事を調べるために必要な知識・技能が十分ではない生徒がいることがわかり、予想以上に多くの助言が必要だった。また、知り得た情報から要点を整理し、自他にわかりやすくまとめる力も全体的に弱いと感じたが、それに対する指導まで手が回らなかった。これらを踏まえて、本単元や今後の単元で計画的に指導していく。まずはこの調べ学習の2回目を行う前に、よりよい調べ方やまとめ方について具体的に伝えていく。

別紙 1－2

5 本時の展開

|           | 学習活動                                                                                                                                                                  | 生徒の活動                                                                                                                                             | 教師の活動                                                                                                                                                                                |    | 教材教具                                                                          |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------|
|           |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                   | MT                                                                                                                                                                                   | ST |                                                                               |
| 導入<br>5分  | <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> <li>本単元の内容を知る。</li> </ul>                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>日直の号令に合わせて挨拶をする。</li> <li>教師の話聞き、単元の学習内容や目標を確認する。</li> </ul>                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>日直に指示を出す。姿勢が崩れている場合は正すよう言葉掛けをする。</li> <li>学習予定表を配布し、説明する。特に自分たちで調べて学び進めるという点を強調する。</li> </ul>                                                 |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>※パソコンは起動しておく</li> <li>学習予定表</li> </ul> |
| 展開<br>35分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>新年の挨拶について調べる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①年賀状</li> <li>②喪中はがき</li> <li>③寒中見舞い</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを見て、調べることに確認する。</li> <li><u>コンピューター室へ移動し、生徒同士で分担して調べる。</u></li> <li><u>調べた情報を精査、整理する。</u></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを配布し、何を調べる必要があるかを把握させる。</li> <li>分担の方法は生徒に任せるが、一人に負担が偏らないように配慮させる。</li> <li>調べた内容はまだ周囲に発表せず、自分の言葉でまとめさせる。不明点があれば教師を呼ぶよう指示する。</li> </ul> |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>パソコン</li> </ul>        |
| 整理<br>5分  | <ul style="list-style-type: none"> <li>記入したことや体裁を整える。</li> <li>次回の授業内容を確認する。</li> <li>挨拶をする。</li> </ul>                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>わかりにくい文字や表現がないか確認し、あれば修正し、提出する。</li> <li>調べた内容を発表し合い、実際に書いてみることを確認する。</li> <li>日直の号令に合わせて挨拶をする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>読み手や聞き手を意識した書き方ができているか確認させる。</li> <li>次回までに調べておきたいことがあれば、申し出るよう指示する。</li> <li>日直に指示を出す。姿勢が崩れている場合は正すよう言葉掛けをする。</li> </ul>                     |    |                                                                               |

※「主体的・対話的で深い学び」の目標に関連する活動については、\_\_\_\_\_下線を引く。

## 実践レポート（MT用）

|                 |                                                     |       |                  |
|-----------------|-----------------------------------------------------|-------|------------------|
| 単元・題材名<br>(授業名) | 書いて伝える<br>(オリエンテーション・調べ学習①)                         | 生 徒   | 農業科3年生徒4名        |
|                 |                                                     | 場 所   | 農業科3年教室・コンピューター室 |
| 日 時             | 令和元年 12 月 3 日 (火) 2校時                               | 指 導 者 | T1:矢倉            |
| 取り入れた目標         | <div>主体的な学び</div> <div>対話的な学び</div> <div>深い学び</div> |       |                  |

## ①取り入れた目標について

調べることを事前に仲間同士で分担する活動は、一人が案を出し、全員がそれに同意したことで、短時間で終わった。一見スムーズではあるが、リーダーシップのある生徒の提案に頼っているとも見えた。全員で意見を出し合うように言葉掛けをする必要があった。

調べる活動では、信ぴょう性の低いサイトの情報を用いないこと、複数のサイトを調べて情報を見比べることを指示したことで、全員がそれを守って活動することができていた。また、知りたい情報を得るために適切な言葉で検索すること、サイト上の文章から必要な情報を見つけることが難しい生徒に対して個別に指導を行ったことで、活動を進めさせることができた。一方で、知り得た情報を自他に分かりやすいような表現でまとめることについての指導が不十分となってしまった。

## ②授業全体について

自分たちで調べるという活動を設定したことで、主体的な学びへとつなげることができた。また、調べさせる内容や量は、生徒の実態から考慮すると適当であった。さらに、指導者が事前に様々な情報を調べ、身に付けてほしい知識を精査しておいたため、生徒が自分でそれを見つけられるように働きかけることもできた。ただし、本時の学習内容を今後の対話的な学び、深い学びへとつなげるためには、役割分担時の話し合いの方法についての指導や、事前に自分の考えを書かせた上で調べさせるといった展開の工夫も必要であった。

また、授業を受ける姿勢や態度についての指導も必要だった。調べる際に座席を指定したこともあって私語は少なかったが、挨拶や活動中の姿勢が望ましくない生徒や、意欲や集中力が途切れて授業態度が乱れていく生徒がいた。

## ③今後の取り組みについて

本単元は分担して自分たちで調べ、発表し、それを基にはがきを書くという一連の流れで進めていく。そのため、より円滑かつ深い学びになるよう、学習内容や態度についての評価をフィードバックしたり、教材や授業展開を工夫したりしていく。また、読解力や要約する力の底上げが必要であるため、本単元の学習以外でも指導していく。

## 授業参観者アンケート

「主体的・対話的で深い学び」についての評価

### 【主体的な学び】

- ・年賀状を作成するという目標をもつことで、生徒一人一人が主体的に調べ学習に取り組んでいた。
- ・予告することで意欲に繋がれていた（調べ学習の具体的な内容）。
- ・意欲が希薄な生徒に対し、個に応じた対応をすることで具体的に調べられ、主体的に活動しようとする場面も見られた。

### 【対話的な学び】

- ・役割分担を生徒が短時間で決められていて良かった。負担の大きいところは早く終わった人がカバーをする、ということも生徒間で話が決まっていたことがすばらしい。
- ・生徒間で話すことが得意な人の発信力に頼る傾向がある。

### 【深い学び】

- ・自分の考えを記入してから調べ学習をすることで、理解が深まるなどより深い学びに繋がるのではないかと感じた。
- ・情報を整理しやすくするためのシートが準備されていて良かった。3 学年の後半なので自分たちで整理する場面があることで、より深い学びに繋がるのではないかと考える。

授業を通しての感想（良かったところ・改善点、MT・STの動きについてなど）

- ・MTが生徒一人一人に丁寧に助言していて、きめ細かな指導だった。
- ・授業中、常に足を組んでいる生徒がいた。
- ・生徒が本題から脱線しそうになったとき「冗談はさておき…」「ところで…」と話をすぐにもどす言葉掛けが良かった。
- ・検索の仕方のヒントや何を調べるべきか、ということが明確だとより良かったと感じた。（生徒によっては、冒頭の説明だけでは、何を調べる必要があるのか忘れていたり覚えられていないと感じた）。
- ・教師がすでに調べた結果、答えが複数パターンあるのを伝えたことで、より準備がしやすくなったと考える。
- ・パソコン操作を当たり前に行っていることに様々な可能性を感じた。逆に調べることで何でも出てくることにより、自ら考える場面が減っているのだとも感じた。教育現場として、自ら考え学ぶ機会を意図的に作っていかねばならないのだと感じた。
- ・個人差に幅のあるHRにおいて、能力の高い生徒へのアプローチの仕方を意識的に工夫していかなないと、意欲の低下に繋がるケースがあるが、MTが適度な距離感を保てていた。

## 1 学年 国語科 学習指導案

|                 |                   |       |           |
|-----------------|-------------------|-------|-----------|
| 単元・題材名<br>(授業名) | 5W1Hで分かりやすい文章を書こう | 生 徒   | 窯業科1年生徒8名 |
|                 |                   | 場 所   | 窯業科1年教室   |
| 日 時             | 令和元年12月25日(水)1校時  | 指 導 者 | T1:石川     |

## 1 授業のねらい

(単元の目標)

- ・ 分かりやすく、読みやすい文章を書くことができる。
- ・ 自分の考えを具体的に入れて、考えをまとめることができる。
- ・ 漢字を正しく丁寧に書くことができる。

(本時の目標)

- ・ 5W1Hで行事の文章を作ることができる。
- ・ 仲間と相談しながら、情報を整理することができる。

## 2 生徒について

- ・ 自発的に発言をしない生徒もいるが、授業に取り組もうとする生徒が多い。
- ・ 自分の考えを分かりやすく相手に伝えることができるようになってきている。
- ・ 漢字を読んだり書いたりすることを苦手とする生徒がいる。

## 3 単元における「主体的・対話的で深い学び」の各目標とねらい

(主体的な学び)

目 標：積極的に、5W1Hの文章を作成しようとすることができる。

ねらい：自分の考えや状況説明などを順序立てて、分かりやすく相手に伝えることができる。

(対話的な学び)

目 標：仲間と話し合って情報を整理することができる。

ねらい：仲間の話を正確に聞き取ったり、分かりやすく伝えたりすることができる。

(深い学び)

目 標：伝えたいことを分かりやすく相手に伝えることができる。

ねらい：自分の考えや状況説明などを相手に伝わる文章にして作文を作成することができる。

## 4 指導計画

- 第1回 11月27日：5W1Hについてのオリエンテーション 【主・深】
- 第2回 12月 2日：5W1Hについて1回目 【主】
- 第3回 12月 4日：5W1Hについて2回目 【主・深】
- 第4回 12月 9日：5W1Hで日常の出来事を表現してみよう1回目 【主・深】
- 第5回 12月16日：5W1Hで日常の出来事を表現してみよう2回目 【主・深】

- 第6回 12月18日 : 5W1Hで文章を作ってみよう1回目 【主・対】  
第7回 12月23日 : 5W1Hで文章を作ってみよう2回目 【主・対】  
第8回 12月25日 : 5W1Hで文章を作ってみよう3回目 (本時) 【対・深】

※ 授業を振り返って

5W1Hの情報があれば、分かりやすく伝わるということを実感させるためにクイズ形式を取り入れて授業を展開した。5W1Hの情報が1個から2個だけしかないときは何の行事のことか分からなかったが、情報が多くなるにしたがって何の行事のことか分かるようになったことを実感させることができた。文章を作るときに、支援が多く必要な生徒に時間を掛け過ぎてしまい、他の生徒の支援が遅くなり、計画よりも時間が掛かってしまった。今後は、もっと余裕を持って計画を立てていきたい。

## 5 本時の展開

|            | 学習活動                                                                                       | 生徒の活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 教師の活動                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    | 教材教具                                                                                                                                              |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            |                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | MT                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ST |                                                                                                                                                   |
| 導入<br>10 分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶</li> <li>・ 今日の漢字</li> <li>・ 本時の内容確認</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日直が挨拶をする。</li> <li>・ 5 つの漢字を確認しながら、正しく丁寧にプリントに記入する。</li> <li>・ 本時の目標や学習の流れ、5 W 1 Hを確認する。</li> </ul>                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日直に指示を出す。</li> <li>・ ワークシートを配布する。</li> <li>・ 今日の漢字を説明する。</li> <li>・ 本時の目標や学習の流れを説明する。</li> </ul>                                                                                                                                                 |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> </ul>                                                                                        |
| 展開<br>35 分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 W 1 Hの文章の作成</li> <li>・ 文章の発表</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成する文章を一人一人引いてくじで決める。</li> <li>・ <u>5 W 1 Hを用いて、くじで決めた行事の文章を作成する。</u></li> <li>・ 2 グループに分かれて、クイズ対抗戦を行うことを確認する。</li> <li>・ 出題者は教卓で、MTの指示に従って5 W 1 Hのある部分を全体に発表する。</li> <li>・ <u>各グループで話し合って、出題者のくじで引いた行事を推測してホワイトボードに記入する。</u></li> <li>・ 解答を確認する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの学校での行事や思い出について文章を作成することを確認する。</li> <li>・ 5 W 1 Hを全て入れて文章を作成することを確認する。</li> <li>・ 机をくっつけてグループになるように指示する。</li> <li>・ 5 W 1 Hのくじを引いて、その部分の文章を発表することを確認する。</li> <li>・ 正解が出るまで、5 W 1 Hのくじを引き続ける。</li> <li>・ 正解が出たら、出題者の文章を全て話すことを確認する。</li> </ul> |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 行事のくじ</li> <li>・ 5 W 1 Hのくじ</li> <li>・ ホワイトボード</li> <li>・ ペン</li> <li>・ 得点表</li> </ul> |

|          |                                                                                       |                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                  |  |                                                           |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------|
|          |                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの得点を確認する。</li> <li>・次の出題者が教卓で発表する。</li> </ul>                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・得点表に得点を記入して確認する。</li> <li>・時間を確認しながら、授業を展開する。</li> </ul>                                                 |  |                                                           |
| 整理<br>5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめ</li> <li>・自己評価</li> <li>・挨拶</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>5W1Hが文章に全部入ると、より分かりやすく相手に伝わることを確認する。</u></li> <li>・本時の自己評価を行う。</li> <li>・ワークシートを提出する。</li> <li>・日直が挨拶をする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめを分かりやすく伝える。</li> <li>・自己評価をワークシートに記入するように伝える。</li> <li>・ワークシートを集める。</li> <li>・日直に指示を出す。</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul> |

※「主体的・対話的で深い学び」の目標に関連する活動については、\_\_\_\_\_下線を引く。

## 実践レポート（MT用）

|                 |                                                     |       |           |
|-----------------|-----------------------------------------------------|-------|-----------|
| 単元・題材名<br>(授業名) | 5W1Hで分かりやすい文章を書こう                                   | 生 徒   | 窯業科1年生徒7名 |
|                 |                                                     | 場 所   | 窯業科1年教室   |
| 日 時             | 令和元年 12 月 25 日(水)1校時                                | 指 導 者 | T1:石川     |
| 取り入れた目標         | <div>主体的な学び</div> <div>対話的な学び</div> <div>深い学び</div> |       |           |

## ①取り入れた目標について

5W1Hを使って、分かりやすい文章が書けるようになることを目標に行った。また、今年最後の国語の授業でもあったため、入学してからの学校行事の思い出の文章が分かりやすく作成することを目標にした。しかし、生徒の実態から1対1で対応しなければならない生徒の支援に偏ってしまったために、普段は文章を作れている生徒が文章を全く書けていないことに気付くのが遅くなってしまった。文章を作成する時間を5分延長して支援を行い、全員が文章を完成することができた。また、グループで競うクイズ形式では、どうすれば相手に簡単に当てられないのかを考えながら文章を作成する様子も見られてた。分かりやすい文章を書けるようにする目標からはずれてしまったが、5W1Hの情報が3個から5個そろわないと何の行事なのか分からないということを体験させることができた。深い学びとして、国語の授業に限らずどんな場面でも5W1Hを意識して話したり、文章を作ったりすることで、相手に分かりやすく伝えることができることを確認することができた。

最初はグループで競うクイズ形式の流れがつかめずにあまり話し合えなかったが、徐々に話し合いが活発になり、何の行事のことなのかを協力して当てることができた。

## ②授業全体について

今年最後の国語ということで、学校行事を振り返ることにした。しかし、学校行事を思い出せない生徒がいることも予想できたので、行事のくじを15枚作成した。その行事を思い出せなくて文章を書くのが難しい場合は、再度くじを引き直すことを行うことで、生徒が自分の力で文章を書ける状況を設定することができた。しかし、行事を思い出して書けない生徒がいたので、もっと一人一人への言葉掛けを丁寧に行ったり、個別支援を行っているときでも全体を常に見渡したりするべきであった。授業の始めは、行事の答えを他の生徒に見られないようにしたり、文章作成に集中できるようにしたりするために一人一人机を離れた状態で行い、クイズ形式のときは、対話的な学びができるように4人グループで机を付けて行うことにした。しかし、グループでの話し合いが他のグループに聞こえてしまっていたので、グループを細分化したり、筆談にしたり、個別活動にしたりするなどの工夫が必要であった。

## ③今後の取り組みについて

分かりやすく相手に伝えるために、5W1Hを使って文章を作成したが、書いて伝えるだけでなく、話すときでも5W1Hを意識して使うことができるように促していきたい。また、自分の考えや意見を分かりやすく相手に伝えることができるように、グループ活動など対話することが必要な場を多く設定していきたい。

## 授業参観者アンケート

「主体的・対話的で深い学び」についての評価

【主体的な学び】

- ・ 5W1Hについて、一人ひとり今年の行事等を連想して記入することができていた。
- ・ 考えることの苦手な生徒への配慮が遅くなってしまい、予定時間をオーバーしていた。もう少し早めの対応で回避できたと感じた。

【対話的な学び】

- ・ 多少の不規則発言はあるものの、授業全体の流れとしては「1対多」としての対話をとおして、生徒間の学習活動が成り立っているといえる。
- ・ 対話させるアイディアがあった授業だと思いました。
- ・ 2つのグループでの話し合いの活発さの差が大きかった。グループ編成に意図があったのなら事前に教えていただいた上で見たかった。
- ・ 1人が発表している内容について聞いている生徒がしっかり考えていて良かった。

【深い学び】

- ・ 5W1Hの情報を分解し、不規則に展開しながら答えを予想するというのは、「伝わりにくさ」を実感するときに有効な手法であると感じた。
- ・ 発表した内容を1年間の振り返りとして考え、成果、課題を考え次の授業等に生かすことができるとより深い学びにつながると感じた。

授業を通しての感想（良かったところ・改善点、MT・STの動きについてなど）

- ・ 最初にルールを無視してうっかり答えを言ってしまった生徒がいたが、「NGワード」としてあらかじめ全体説明しておけば避けられるのではないだろうか。
- ・ 生徒の「ギャ」の頻度が多く、指導が必要です。
- ・ 机上のバインダーは学習の邪魔なので、床に置くなどした方が良かったかもしれません。
- ・ 5W1Hに付く「てにをは」が怪しい生徒がいました。「2」の一文化するときに気が付くかもしれませんが、指導の視点としては必要かと思いました。
- ・ 漢字の部分と今日のテーマの部分としっかり区切りを付けてから授業に入った方が良い感じがしました。
- ・ ある生徒の発言や行動が他の生徒よりも目立っていた。
- ・ クイズ形式とあったのでどんな風になるのかと思いましたが、楽しく授業が進んでいる感じがしました。
- ・ 漢字を習う上で、使い方だけでなく、漢字そのものの意味も伝えることができれば良いと感じた。
- ・ 少し自由におしゃべりしている生徒が目立った。メリハリ等指導が必要と感じた。
- ・ 5W1Hで文章を考える題材として、1年間の行事や活動をテーマにして生徒も考えやすく、振り返ることもできるのでとても良かった。

### 3 学年 国語科(外国語／中国語)学習指導案

|                 |                                        |       |                                              |  |
|-----------------|----------------------------------------|-------|----------------------------------------------|--|
| 単元・題材名<br>(授業名) | 中国語で J - p o p を歌おう<br>「世界上唯一的花(SMAP)」 | 生 徒   | 3 年生全科 生徒 20 名                               |  |
|                 |                                        | 場 所   | 視聴覚室                                         |  |
| 日 時             | 令和元年 10 月 28 日 (木) 2 校時                | 指 導 者 | T1 : 田中博      T2 : Tas<br>T3: 矢倉      T4: 村瀬 |  |

#### 1 授業のねらい

(単元の目標)

- ・日本語にない中国語特有の発音に、積極的に挑戦することができる。
- ・ A L T、M T、S T に自ら積極的に発音を確認にいくことができる。

(本時の目標)

- ・中国語の基礎的な事項(1～10の数唱・自分の名前の紹介)を理解することができる。
- ・同じグループの仲間と試行錯誤しながら、中国語に近い発音に迫ることができる。

#### 2 生徒について

- ・3年生 22 名は比較的、学習能力が高い生徒が多い。しかし学年全体として「難しい課題から逃避する」「分からないとすぐにあきらめる」、「周りの友達に問題の解決を依存する」姿勢が顕著であり、難しいことから逃避しようとする傾向が強い。
- ・一方で2年次(国語・外国語／英語「外国人に英語で製品を売ろう」)では普段、使い慣れない言語を駆使して、積極的に「外国人に物を売る」という困難な課題に挑戦しようとする姿が多くの生徒にみられた。
- ・今回は、Tas 先生のもつ能力を活かし、昨年以上に馴染みのない中国語の発音を、仲間と試行錯誤しながら、できるだけ正しい中国語発音となるよう工夫することをおして、仲間と共に「見通せない難しさをもつ課題」に挑戦する体験を生徒にさせたい。
- ・また、高校生の発達段階と耳馴染みのある J - P O P を題材にして、生徒が興味関心をもちやすいように設定した。
- ・なお、中国語発音は基本的に「声調(四声)」による発声法の特徴があり、例えば「馬」と「母」では同じ「マ」でも発音が異なる。ただし今回は生徒に対してそこまでは追求せず、「発音の仕方」の工夫を主眼に置く。

#### 3 単元における「主体的・対話的で深い学び」の各目標とねらい

(主体的な学び)

目 標：日本語にない中国語特有の発音に、積極的に挑戦することができる。

ねらい：A L T、M T、S T に自ら積極的に発音を確認にいく場面

(対話的な学び)

目 標：同じグループの仲間と試行錯誤しながら、中国語に近い発音に迫ることができる。

ねらい：グループで歌の担当部分の発音を聴き取りながら正確な発音を協議検討する場面

(深い学び)

目 標：同じグループの仲間と試行錯誤しながら、中国語に近い発音に迫ることができる。

ねらい：各グループの歌を1つに統合することで、発音の追求の度合いを交流する場面

#### 4 指導計画

第1回 10月28日(木)2校時 中国語の基礎、J P O P を中国語で歌おう 【主・対・深】

※授業を振り返って

・A L T の能力を活用し、生徒が外国語の学習体験を、英語だけでなく中国語に広げて学習できたという点で体験の拡充を図ることができた。インバウンドの増加で、卒業後に接する場面が増える言語になると見込まれることもあり、意味のある時間であったと考える。

・焦点化をして学習したが、内容の絞りに限界があり、本時を2分割して2時間扱いにすれば、生徒同士の深い学びの時間を設定できたと考える。

## 5 本時の展開

|           | 学習活動                                                     | 生徒の活動                                                                                                             | 教師の活動                                                                                                       |                              | 教材教具                                                                   |
|-----------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
|           |                                                          |                                                                                                                   | MT                                                                                                          | ST                           |                                                                        |
| 導入<br>1分  | 挨拶(中国語)<br>(1分)                                          | ○挨拶する「你好 Tas 老師！」                                                                                                 | 【Tas】返し<br>今日の授業の目標を提示する<br>※日本語で説明<br>Kāi shǒu shàng kè。<br>开 始 上 课 (授業を始めます)                              | ※請 (チン／どうぞ)                  | テレビ<br>タブレット PC<br>(以後、全般的に<br>使用)                                     |
| 展開<br>10分 | 1 中国語の基礎<br>・数字の数え方<br>(1～10)<br>・自分の名前の<br>言い方<br>(10分) | ○個人練習<br>・歌で数唱する。<br>・「我叫～」(Wo jiào ～) を<br>使った表現の練習をする。(主・対)                                                     | 【田中・Tas】模範歌唱する<br><br>【Tas】質問「你叫什么名字？」<br>【田中】Wo jiào Tián zhōng Bó<br>zhào.<br>我 叫 田 中 博 昭.                | 一緒に歌う                        | WS 1<br>動画 数え歌                                                         |
| 30分       | 2 中国語で日本<br>の曲を聞く<br>(5分)<br>(3分)<br>(2分)<br>(20分)       | ○J-POP を中国語で聴く<br><br>○「世界上唯一的花/世界に一つの花」を聞<br>く<br><br>○自分の担当を確認する<br>○グループ練習<br>・グループ毎に発音練習(主)<br>カタカナ発音を中国語発音にで | 【田中】曲を再生する<br>「豆豆龍 大小姐となりのトトロ」<br>「泪光閃閃涙そうそう」 <u>「桜ノ雨」</u> .<br><br>【田中】ワークシート配布 グループ分け<br>【Tas】机間指導(発音の支援) | 【矢倉・村瀬】<br>机間指導補助<br>(発音の支援) | 動画 曲<br><br>動画 SMAP 歌唱の中国語バー<br>ジョン<br>WS 2<br>CD～SMAP 歌唱の中国語バー<br>ジョン |

|           |                                                                                                      |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                  |                                                                                        |                                            |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
|           |                                                                                                      | <u>できるだけ近づけるようにする話し合う</u> （主・対）                                                                                               |                                                                                                                                                                                                  | 【矢倉・村瀬】<br>分担の部分を歌唱練習                                                                  |                                            |
| 整理<br>10分 | 1 歌を担当毎に<br>リレーし、1<br>つの曲にまと<br>める<br>(動画撮り)<br>(8分)<br>2 今日の到達点<br>の確認<br>(1分)<br>③ 挨拶(中国語)<br>(1分) | ○ <u>全グループ、自分の担当部分を歌</u><br><u>唱する。</u> （主）<br>○ <u>撮影した動画を見る。</u> （深）<br><br>○ <u>評価を聞く。</u> （深）<br><br>○挨拶する 「謝謝、T a s 老師！」 | 【田中】 分担の部分を歌唱練習<br><br>【田中】 vocal off 音源再生<br>【田中】 分担部を歌唱<br>【Tas】 ※日本語で講評<br><br><br>【田中】 Tas 先生の講評も含めて評価する。<br><br><br>【田中】 yào xià kè le ya シャン クア ラ<br>要 下 課 了<br>(今日はここまで。)<br><br>【Tas】 返し | 【矢倉】 動画撮影<br>【矢倉・村瀬】 分担部を歌唱<br>【矢倉】 動画再生<br><br><br><br><br><br><br><br><br>【矢倉・村瀬】 挨拶 | vocal off 音源<br><br>テレビ<br>タブレットPC (動画撮影用) |

※「主体的・対話的で深い学び」の目標に関連する活動については、\_\_\_\_\_下線を引く。

## 実践レポート (MT 用)

|                 |                                     |        |                        |
|-----------------|-------------------------------------|--------|------------------------|
| 単元・題材名<br>(授業名) | 中国語で J-POP を歌おう<br>「世界上唯一的花 (SMAP)」 | 生徒     | 3年生 生徒 20 名            |
|                 |                                     | 場所     | 視聴覚室                   |
| 日時              | 令和元年 10 月 28 日 (木) 2 校時             | 指導者    | T1: 田中博 T2: Tas T3: 村瀬 |
| 取り入れた目標         | 主体的な学び                              | 対話的な学び | 深い学び                   |

## ①取り入れた目標について

生徒の実態に合わせ、学年集団の一番の課題である「未知なる課題への対処」という場面設定の中で授業設定を行った。町の ALT である Tas 先生のスキルを借りて、本物の中国語の発音に触れさせたことから「対話を通した深い学び」、自分の名前を中国語読みして自分の名前を表現する練習をさせたことをとおして「主体的な学び」の目標設定は的確に設定できたと判断する。

## ②授業全体について

時間設定の都合で、指導内容を取り入れ過ぎた。

実施後、自分としては「数字」や「自分の名前」を本時の前に 1 時間取り、他の場面に絞って本時を設定する全 2 コマ扱いとすれば生徒同士が対話をとおして課題にアプローチする時間をしっかりと保証できたものと反省した。

## ③今後の取り組みについて

生徒達は、短い時間設定の中でグループ内で話し合い、資料にあるカタカナ表記による中国語「的」な読み方から、少しでも本物の中国語の発音に近付くように工夫して練習することができた。また、SMAP 同様に歌詞全体を区切って歌ったことで、生徒個々の担当意識と、練習量の目途が立てやすかったこと、音読みと近い発音など、見通しをもちやすかったのではないかと考えている。

目標設定の中の生徒たちの実態や、国内でインバウンドの外国人が増え、中国語は中国、台湾、香港を中心とした旅行者等と生徒との接点が増えると思われる中で、今回の授業は外国人とコミュニケーションを図るためのきっかけ作りとしては意味があったと考えている。

生徒の中には、来春からホテルに就く予定の生徒や、中華圏の外国人と接する機会がある水産加工業などに就労する生徒がおり、当該生徒にとっては意味のある学習機会となったものと考えている。

今後、ピンインを含めた本格的な中国語会話や英語を学ぶのであれば、総合的な探究の時間の中で取り組む方法もあるのではないかな。

## 授業参観者アンケート

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「主体的・対話的で深い学び」についての評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p><b>【主体的な学び】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語の数字や自分の名前を何度も確認して発音していた。</li> <li>・MT、ST には積極的に確認する様子が見られたが ALT（普段接していない人）には積極的に確認する様子があまり見られなかった。意図的にそのような場面の設定ができればと感じた。</li> <li>・目標では、ALT、MT、ST に自ら積極的に発音を確認していくとあるが、生徒から主体的に発音を聞いている場面は見られなかった。</li> <li>・発音練習で自分から声を出す生徒が多かった。</li> <li>・グループで繰り返し歌うことで、発音の確認を生徒同士で行っていて良かった。</li> <li>・慣れない中国語の発音も生徒同士で確認し合っていて良かった。</li> </ul> <p><b>【対話的な学び】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで歌の発音の仕方や歌い方を話し合いながら練習している様子がとても良かった。</li> <li>・自分の名前の発表をペアやグループで行えば対話的な学びにつながったのかと感じた。</li> <li>・中国語という初めての体験であったが、歌として行うことで仲間同士で確認する場面が見られた。歌を聞きながら発音を確認できていた。</li> <li>・展開の内容が良かったので、もう少し時間があるとよりグループ内での対話が深められそうでした。</li> <li>・歌詞はカタカタ表記ですが、音源を聞いてみると日本語とは微妙な違いがあることに気付き、グループ間で共有して発音し直すという場面も見られました。</li> </ul> <p><b>【深い学び】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段使うことのない中国語の題材は、珍しさもあり、生徒は興味深く取り組むことができていたようでした。特に、ALT のネイティブな発音を聞きながら同じようにまねたり、漢字は日本語の音読みに近かったりしたことが理解できた生徒はとくに発音しやすいようでした。</li> </ul> |
| 授業を通しての感想（良かったところ・改善点、MT・ST の動きについてなど）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の関係もあり、歌の練習で精一杯のように感じた。</li> <li>・MT、ST の役割分担が明確で良かったです。</li> <li>・自分の名前を ALT から聞き取るときに、ルビのように記入するようにサポートやグループ内での学習になったときには主体的に参加しにくい生徒への促しが適切でした。</li> <li>・上記とは矛盾するが、名前の発音の確認を一人一人確認していて良かった。</li> <li>・生徒の知っている曲で興味・関心をもたせていて、食いつく生徒が何人も出ていて良かった。</li> <li>・動画を使用したことによって、集中力が保たれていた。</li> <li>・慣れ親しみのない中国語の数え歌や自分の名前の発音など新鮮で生徒も興味津々で楽しい内容だった。</li> <li>・発音に困っている生徒にはすぐに ST がフォローに入っていた。</li> <li>・日本になじみのある歌の中国語バージョンでの歌は生徒もとても楽しそうだった。</li> <li>・とても良い題材だったと思います。時間も押してしまいましたし 1 コマでは短かったと感じました。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

2コマで設定できればもっと充実した授業になったと思います。

- グループ練習のときの指導に偏りがあったと思う。
- 音楽に合わせて数を言っていて、生徒が積極的に参加していて良かったと思う。
- 自分の名前や、親しみのある曲で生徒が楽しそうに取り組んでいたと思う。